

平成27年度 第2回文化振興審議会資料

1 平成27年度の事業目的

平成28年度に新たな文化振興基本計画を策定するにあたり、課題やニーズ等の把握のため、市民の文化に対する意識等の調査を行う。

2 第1回文化振興審議会での主な指摘事項

別紙1を参照

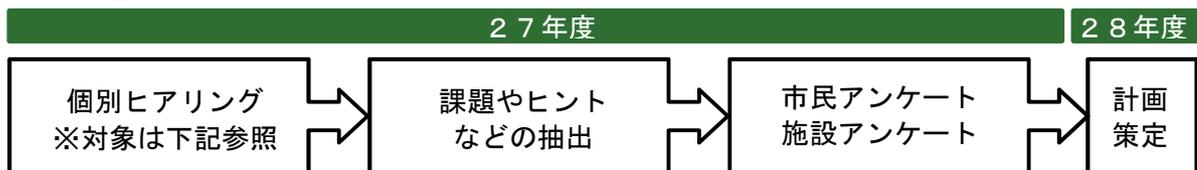
3 意識調査の方向性

- ◎芦屋の文化の概念を広げる。
- ◎次に繋がる人材や事業等の発掘を念頭に置きつつ調査する。

4 意識調査の方法

第1回文化振興審議会でご指摘いただいた内容等を踏まえ、以下の手法により実施します。

(1) 実施内容の全体の流れ



① 個別ヒアリングの実施

ア ヒアリングの対象者

属性		ヒアリング対象（予定含む）	市が特に知りたいこと
若者	10代	県立芦屋高校の学生	若い世代へのアプローチの方法について
	20代	芦屋大学の学生 (※試験的に1回実施済み)	
子どもを持つ親 (親の個人としての視点含む)		芦屋市PTA連絡協議会 (幼稚園・小学校・中学校)	子育て・教育において重要なこと
事業者		飲食・ファッション・メディア関係等 ※ヒアリング対象については調整中	芦屋市の文化的・人的資源等の発掘
文化事業実施者 (活動団体等)		河内厚郎事務所 青空ドラマカンパニー ※ヒアリング対象については調整中	

イ ヒアリングの内容

別紙2を参照

② 市民アンケート/民間施設アンケートの実施

個別ヒアリングにより得たヒント等をもとに、無作為抽出した市内2,000人/民間の文化施設等を対象に実施（対象施設等の選定はアンケート結果を勘案して行う）

(2) スケジュール

別紙3を参照